
リハビリテーション天草病院だより

2017年7月

No. 83



発行 埼玉県越谷市平方343-1 / (医) 敬愛会広報委員会

再び「地域医療構想」について考える

医療法人敬愛会理事長 天草 大陸

本誌80号(2016年10月発行)で法で定められた「地域医療構想」について述べましたが、その中で、構想は「医療費抑制策」の側面を持つことを指摘させていただきました。団塊の世代の全員が75歳以上となる2025年に向けて例外なく全国各地で高齢人口が増えますので、医療と介護の提供体制、医療と介護の連携体制等の見直しに着手し始めたことに異を唱える人はいないと思いますが、問題はベッド数に係わる構想部分です。

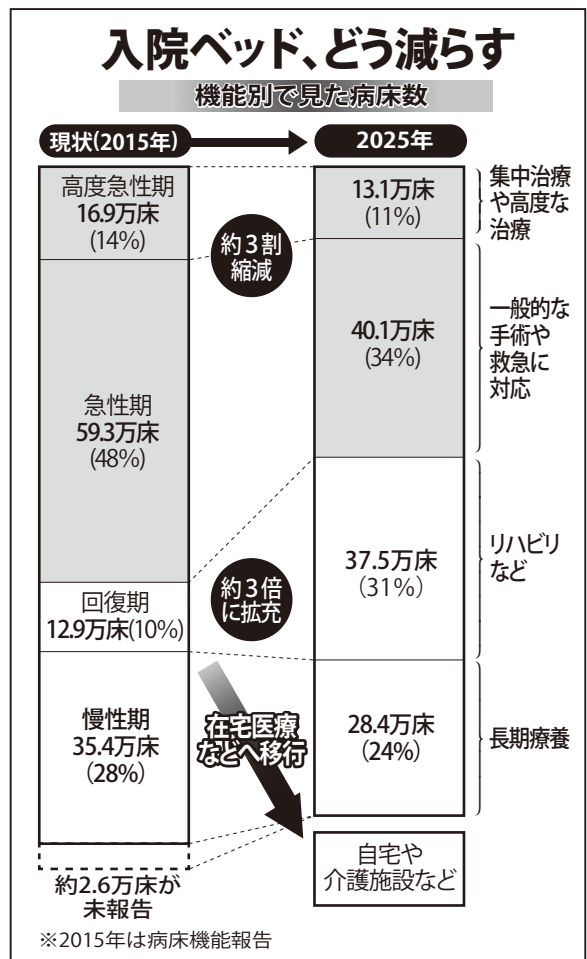
構想が実現しますと、2015年時点で全国で133万床ある病床が、2025年には119万床に、実に14万床、1割以上が削減されます。都道府県別では、鹿児島、富山、熊本、宮崎など7県の減少率が3割を超えることになり(病床数が増えるのは、東京、大阪、千葉、埼玉など6都府県のみ、他は全て削減)。高齢者が増えると入院を必要とする患者は減るのでしょくか。むしろ増えると考えるのが常識的ではないでしょうか。

病床機能別では、右図(読売新聞、2017年5月11日号より引用)に示すとおり「高度急性期」、「急性期」の病床数を約3割縮減しますが高齢者が増えると急性期の患者は減るのでしょくか。むしろ高齢者だからこそ手術等で高度の医療技術が必要とする患者が増えると考えるのが常識的ではないでしょうか。

入院費が高額な急性期の病床を減らすことや高齢者には手厚い医療は必要ない—と国は考えているのではないかと疑いたくもなります。皆さんはいかがお考えになりますか。

一方、回復期は約3倍に増えます。急性期で過剰となった病床を回復期に機能転換させようと国は考えているようです。機能転換に応じない公的病院に対して、都道府県知事は転換命令権を有します。最近では、知事の転換命令権を民間病院まで広げようとする動きも見られます。

構想の病床削減、病床機能の強制転換が実現した時の「医療難民」出現が危惧されます。



嚥下・摂食機能障害の治療と食事

栄養部 管理栄養士 宮崎 正範

人は食事をすることで食欲を満たしたり、人とコミュニケーションをとったりと、多くの楽しみや喜びを感じると思います。脳卒中などで、食べ物を噛むことや飲み込むことに問題が起きると、今まで通りに食事を摂ることが困難になり、食事に対する楽しみを失ってしまいます。長期にわたって食事が満足に出来ないと体重減少・筋肉が低下し、低栄養・脱水症状が起きる危険があります。

嚥下・摂食機能障害のある人に意外と多いのは、食べ物だけでなく水分の摂取が難しい事です。サラサラした水分だと気管に入りやすく誤嚥してしまい、タンパク質の多い物を誤嚥すると肺炎を起こしてしまう事もあります。食事や水分には「トロミ調整剤」を使い、液体にとろみをつける事で誤嚥を予防できます。当院では摂食機能療法を行っている患者さんの半数以上にトロミ剤を使用しています。とろみの形状の強さはトロミ剤の量で調整でき、ポタージュスープ状からジャム状まで個人の嚥下のレベルに合わせて調整しています。

トロミが安定するまでの時間	ポタージュ状 トロミした感じ	シロップ状 ツルツルと流れる感じ	ジャム状 まとまって落ちる感じ	
冷たいお茶	30秒	~1g	1.5g~2.5g	2.5g
経口補水液	3分			
オレンジジュース	5~10分	1g	2g	2.5g

引用：篠明治 トロミ剤使用量の目安より

では嚥下・摂食機能障害に対応した食事の形態にはどのようなものがあるのでしょうか？

「ゼリー状」「ムース状」「ペースト状」「刻み」などがあげられます。摂食嚥下のどの段階で障害があるかによって食事の形態も対応も変わってきます。健常者は咀嚼ができ、嚥下ができますが、身体に麻痺があり口が動かしにくい・あごが開きにくい・入れ歯が合わないなど、噛むことに問題があり飲み込む形に出来ない場合、噛まなくても飲み込めるように小さく刻むか、歯ぐきや上顎でつぶせる状態に擦り潰します。ゴボウ・レンコン等の根菜は煮ても歯ごたえが残り固いので、細かく刻むか擦りおろしてつなぎに混ぜます。豚肉（ヒレ・モモ）は長時間加熱し、軟らかくするか、挽肉にします。山芋・挽肉・茹でたじゃが芋は練ると、つなぎに適しています。

次に飲み込みが難しく上手く嚥下出来ない場合、前述したように飲み込む時に誤嚥しないために食べ物に粘度を付けることです。飲物だけでなく煮物の汁やドレッシング・スープ・ソースやたれにもとろみをつける必要があります。形のあるものは食べるのが難しいため、少しの水分と一緒にミキサーにかけ、ゼラチンやゼリー剤で固めます。

当院では、主食の分類として米飯・軟飯・全粥・ミキサー粥・ゼリー粥の5種類、副食の分類は大刻み・中刻み・小刻み・軟菜食・ミキサー食の5種の形態で対応しています。嚥下・摂食機能障害を持った患者さんに対し、機能レベルに合わせた食形態を提供し、リハビリテーションの効果を最大限に発揮出来るように努めています。

「天草病院へ入院して」

越谷市 豊田 美幸

今年65歳になる主人が昨年10月26日の深夜、顔面の麻痺を訴え急性期病院に救急搬送され脳梗塞と診断されました。それから一週間後、病状が悪化し発症時よりさらに大きな梗塞が右脳内に広がり脳出血を起こし入院。当初まだ辛うじて動かすことの出来ていた左半身の麻痺がひどくなり全く動かすことが出来ない状態でさらには生命の危機にまでみまわれました。懸命な主治医の処置により命は取り止めましたが、左半身の麻痺は回復することはなく私と娘の不安は日々増すばかりでした。そんな時、主治医により一日も早いリハビリ病院への転院を勧められ、いくつかの候補の中からリハビリテーション天草病院へ転院を決めました。救急搬送から約一ヶ月後、リハビリテーション天草病院へ転院、その日から直ぐにリハビリが始まり私たち家族は主治医の先生、看護師の皆さん、リハビリを担当してくださった先生方の対応の素晴らしさにただただ感動を覚えました。

つくづく脳梗塞の恐ろしさ、大変さを実感しながらも主人のケアだけでなく家族の心の不安など多岐にわたるアドバイスをして頂き救われたことが何度もあり、この病院を選んで良かったと心から思いました。

日々少しずつですがリハビリの成果を出たことを嬉しそうに報告してくれる主人を見ることが今は何よりの喜びであり希望です。先日、急性期病院に入院時の一番症状の重い時に面会に来てくれた知人がこちらに転院後、再度面会に来て主人の回復ぶりに驚いていま

した。天草病院に転院後4ヶ月経ち、退院の目処もついた現在は退院後の自宅での生活に向けての準備が進んでおります。きっとこれからが大変なんでしょうがこの病院で受けた心のこもったケアを家族共々忘れることはないと思います。主人に携わってくださったスタッフの皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

(投稿日 平成29年 3月31日)

「絆」

松伏町 今井 新吉

それはあまりにも突然でまさしく何が何だか分からず、まさしく夢ではないのか今の今でもこの原稿を書いているこの時でも認めたくない夢であってほしいと言うのが私の素直な気持ちです。

平成28年10月17日(月)の午後11時過ぎだったと思います。就寝するよと妻(久子)が寝室に来ました。休む前にトイレに行った方がいいよねと妻が私に話したので、そうだねと私は言いました。するとベッドから立ったかどうか分からないうちに床に座ると同時に嘔吐しました。2階に長女が居たので、私は大声で呼び長女が寝室に来ると同時に救急車を要請し、越谷市の獨協医大越谷病院に搬送されたのが日付が変わった18日(火)の午前1時頃でした。診断の結果、脳出血(右視床)で身体の左側は不自由になるだろうと言われ呆然とした面持ちで帰宅したのが明るくなった午前6時頃でした。午後2時からの面会時間に病院に行った時に主治医の先生から、出血は一度で後は出血していないのでなるべく早くリハビリ病院に行けると言いますよと言われたので安心しました。

翌日(19日)の午前11時頃病院の看護師さん

から電話があり「今日は何時に病院に見えますか」「面会時間は14時からなのでその頃に行きます」と返事をしたら直ぐに来て下さいとのことでしたので12時頃に行きました。主治医の先生の話では血圧が高いので血圧を低く(正常値)したら尿が全然出なくなったことにより、腎不全の恐れがありますとのこと。その時、色々処置をするための同意書を何枚も書いたことを記憶しています。

こう言う時に小中学校時代の同級生、越谷高校時代の合唱部の友人、町のサークルの人が毎日の様に見舞いに来てくれました。大変うれしく、励まされました。でも、妻に当時のことを聞いても何も覚えていないとのこと。この見舞いに来ていただいた時に、合唱部の友人が越谷高校の校歌を病室で唱和していただいた時、私は人前では泣いたことは殆んどありませんでしたが思わず涙、涙、涙が止まらなくなり病室で泣いてしまいました。68年間生きていて、友人・友情と言うものはこんなに素晴らしいのかと感動しました。私は、こんなに色々な人に慕われている人を妻にしたことを世界中で一番幸せものだと確信しました。

獨協医大越谷病院に51日入院し、12月8日(木)に退院し、同日リハビリで評判の天草病院に転院しました。リハビリは、日曜日・祭日も年末年始もなく年中無休で大変厳しいようです。入院中夕食の時に妻が私にこう言う話をしました。「お父さん、私はいつ病院から退院できるのか、昨日はある程度車椅子での歩行練習が出来たのに今日は、今日は全然できないの！私は馬鹿だから愚図だからできないの・・・」大粒の涙を出して言うのです。私も何も言えずに二人で泣いてしまいました。

言うまでもなく、リハビリは直ぐに効果があるものではなく時にはあまりの進歩の無さに心が折れそうになることがあると聞いてい

ます。しかし院長先生をはじめスタッフの皆様の手厚い、心温まる看護を感謝すると共に自分を信じ「焦らず、諦めず」を原点に一日も早く家に帰りたい、元の生活に戻りたいという気持ちを持ってリハビリに励むよう側面からサポートをして行きたいと思っております。なお一層のご指導ご支援をお願いします。

(投稿日 平成29年3月28日)

感謝の声 (投書箱より)

すっかりお世話になった天草病院の退院も間近になりました。天草病院に入院し、第一の喜びは素晴らしい先生に主治医になって頂いたことです。大腿部を骨折したことは痛かったですが、そのお陰で天草病院のリハビリ治療を受けられました。リハビリ担当の先生の丁寧な指導と脳活性化する日本語パズル1冊を制覇させて頂いた嬉しさ毎日が楽しかったです。又、熱意あるリハビリで長年曲がっていた右足(すでに4cmの差がありました)身体の歪みも少しずつ治ってまいりました。(右足は1.5cm伸び、2.5cmの差になりました)天草病院のリハビリは素晴らしい。退院後も自宅でリハビリ治療を受けられるようお願い致しました。段差のある靴もお願ひ致しました。すっかりお世話になったリハビリの先生方、いつも優しく支えてくださった看護師、介護士の皆様に心から厚く御礼申し上げます。本当に有難うございました。

(C病棟 患者様より)

入院当初の事は、恥ずかしい話ですが何も覚えておりません。ただ、リハビリの先生の励ましに私はどんなに力づけられた事か、これから退院しても注意を受けた事を守り日々前向きに生活して行きたいと思えます。

(A病棟 患者様より)

病院第1期工事の完成報告

法人事務局顧問 納所 豊

当院では、患者の皆様が快適に入院生活を送れますよう、現在、東側建物のリニューアル工事を進めております。

この一連の建物工事は、平成27年12月に開始し、第1期工事が平成29年6月末まで、第2期工事が平成30年12月末までと計画しており、現在、第1期工事が完了したところです。これから第2期工事を開始しますので、まことに恐縮ではございますが、もうしばらく、入院中の患者の方々にはご迷惑をお掛けすることとなります。

すべての工事が完成しますと、全病棟が4階建て以上となり、病院全体の機能性が向上

します。たとえば、これまでC病棟は3階と4階とに分かれていましたが、完成後は4階部分のみとなり、2階がA病棟、3階がB病棟、4階がC病棟という具合に単純化されます。

また、全館で廊下幅が広がり、病室も広く明るくなりますので、ご期待ください。完成予想図は下記の通りです。

なお、今後予定されております取り壊し工事につきましても、極力騒音やホコリなどが発生しないよう、業者と綿密に打合せして対応して参ります。残りの工期約1年半の間、皆様何卒ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

【平成30年12月完成予想図】



当老健における通所リハビリテーション

介護老人保健施設シルバーケア敬愛 リハビリ部 部長 済川 裕右

通所リハビリとはリハビリテーションを主たる目的として、ご自宅から通っていただくタイプのサービスです。通称デイケアとも呼ばれ、医師や看護師、療法士が在籍し、利用者様の心身機能の維持・向上そして日常生活動作能力の向上を目指しています。当施設は平成元年に開設し定員10名からスタートしました。以来30年間、徐々に規模を拡大し今ではお陰様で定員140名の大規模施設に成長しています。

当施設の一番の特徴は利用者の皆様に充実したリハビリテーションサービスを提供するため多数の経験豊かな療法士（理学療法士9名、作業療法士6名、言語聴覚士1.5名）が在籍していることです。各療法士はより良いリハビリテーションサービスを提供するために日々リハビリ技術の研鑽に努めています。また、リハビリを行うにあたっては、利用開始時に療法士が自宅を訪問しご本人やご家族のご希望や心身の状況、在宅環境等を把握し、その方にとって最適なりハビリテーション計画をケアスタッフとも協同して立案しています。更に、これらの計画は3ヵ月毎に見直しその時のリハビリの進行状況やお身体の状態の変化や自宅での生活状況等も含めて再検討し新たな計画書が作られていきます。

個別リハビリは1回20分間でマンツーマンで提供させていただいていますが、退院(所)後3ヶ月以内は短期集中期間として1回40分間の個別リハビリを実施することも可能です。更に、療法士が行う個別リハビリ以外にも各

種のリハビリが実施されています。マシントレーニングを軽負荷で行うパワーリハビリでは筋肉の活性化を図ることができます。また、各種の器具を使用したリハビリにより、上肢機能・下肢機能の向上、痛みの軽減、体幹機能の向上、関節可動域の向上等の効果が期待できます。これらの機器の使用に当たっては一人おひとりの身体の状態や安全を考慮して担当の療法士が個別のメニューを作成しています。また、実施に当たってはデイケアのスタッフが付き添い介助と安全管理を行っていますので安心してリハビリを行うことができます。更に、療法士の許可がある場合は一人で行う自主トレーニングも可能です。その他にもケアスタッフが担当する立位で行う体操や歩行練習等も選択することができます。このように1日の中で様々な体を動かし心身機能を高めることが、生活機能の向上につながってゆくことになります。

また、リハビリ以外にもお体の状態に合わせて安全に入浴することができる設備も完備していますし、昼食は管理栄養士がメニューを立案し栄養バランスやカロリーを適切にコントロールしてご提供させていただいています。

当施設の通所リハビリでは皆様が少しでも快適にそして生き生きとご自宅での生活を送ることができるよう、これからもスタッフ一同力を合わせて応援させていただきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

編 集 手 帳

✦7月2日の都議選では、自民党が「歴史的
大敗」を喫しました。小池百合子都知事率
いる地域新党「都民ファースト」の一人勝ちで、
既存政党の中では党綱領とは裏腹のソフト路
線を掲げる共産党が2議席増の19議席とし
たものの、あまり報道されませんでした。民
進党(旧民主党)は5議席しか獲得できず
惨敗という結果でした。惨敗したにもか
かわらず自民党代表や幹事長は「おご
れる自民党への嫌悪感が充満し、安倍
政権にノーという意思表示が示され
た」と総括しました。政権を一度担
当した民進党には、もはや政権奪取の
意図はないのでしょうか。都議選の結
果を「自民党批判票の受け皿にはな
り得なかった」と率直に認めなくて
はならなかったのです。もはや、民
進党は健全な政党ではありません。
それもその筈です。先の通常国会で
は閣僚の失言や

スキャンダルの追求に終始し、国家の
存亡にかかわる、例えば、今ここに
ある北朝鮮危機について、ほとんど
論争をしませんでした。

✦現在、日本を取り巻く平和安全環
境は誠に厳しいものがあります。日
本海に度々ミサイルを打ち込む北
朝鮮の独裁者の核を含む極めて危
険な国家戦略、尖閣周辺では一党
独裁の中国船が我が物顔で跋扈
(ばっこ)する、ロシアは略奪した
北方領土の固定化を推進し、決
して無縁ではないイスラム過激派
(IS等)によるテロの頻発、など
など数え上げればきりがありません。
これらの問題に対処するためには、
もっと「真面目」な、政権交代可
能な力を持った野党の出現が望ま
れます。残念ながら、民進党は存
在価値さえ疑われる政党に成り下
がったと思います。他人に厳しく、
自分に甘い。国民は既に民進党に
対して「現下の危機にまともに対
処できるはずがない」と結論を下
したのです。(理事長 天草大陸)

当法人施設が取得する第三者評価認証

患者さんが病院を評価するには、
その病院自身の「自己紹介」も参考
になりますが、第三者の評価も重
要です。当院では「病院機能評価機
構」と「ISO」の認証を取得して
います。

なお、老人保健施設でも「ISO」
の認定を受けています。



表紙のことば

この作品はB病棟に以前入院され現在は外来リハビリにいられている患者さんが作成した物です。退院後、定期的に季節に合ったリースを作成し病棟に持ってきて下さいます。

病棟のデイルームに飾り患者さんや面会に来られた家族、病棟スタッフはいつも鑑賞し癒されています。退院した患者さんの元気な姿に会えることは私たち病棟スタッフとしても嬉しく思います。

B病棟職員一同